

MI·RA·Is/PX

# DDS 指紋認証環境構築手順

## クライアント用端末

4 版 2017 年 12 月 22 日



## 目次

---

1.	概要	1
2.	事前準備	1
2-1.	ドメイン参加	1
2-2.	インストールに必要なファイルを準備する	1
2-2-1.	EVE MA クライアントのインストーラー準備	1
2-2-2.	ドライバーのインストーラー準備	1
3.	EVE MA クライアントのインストール	2
3-1.	ドライバーのインストール	2
3-2.	Install.ini ファイルの設定	2
3-2-1.	[Install]セクション	2
3-2-2.	[Client]セクション	3
3-2-3.	[Client¥GINA]セクション	3
3-2-4.	Install.ini ファイルの設定例	4
3-3.	EVE MA クライアントのインストール	5
4.	ID Manager のインストール	5
4-1.	<b>IDManager.ini</b> ファイルの編集	5
4-1-1.	[Install]セクション	5
4-1-2.	IDManager.ini ファイルの設定例	6
4-2.	ID Manager for EVE MA のインストール	7
5.	レジストリーの登録	7
5-1.	認証画面のユーザー名固定	7
6.	ローカルグループポリシーの設定	8

## 1. 概要

---

クライアント用端末の環境構築を目的とする。

## 2. 事前準備

---

### 2-1. ドメイン参加

---

クライアント用端末をドメインに参加させる  
※既にドメインに参加している場合は不要です。

### 2-2. インストールに必要なファイルを準備する

---

#### 2-2-1. EVE MA クライアントのインストーラー準備

---

インストール CD の「Software/.../client」フォルダー配下を、アクセス可能な任意の場所にコピーします。

「Software」フォルダー配下は、32bitOS 用と 64bitOS 用に分かれています。

#### 2-2-2. ドライバーのインストーラー準備

---

インストール CD の「Driver」フォルダー配下を、アクセス可能な任意の場所にコピーします。

### 3. EVE MA クライアントのインストール

---

#### 3-1. ドライバーのインストール

---

DDS 社指紋認証機能を使用するには、ドライバーのインストールが必要です。

使用するユニットに合わせ DDS 社提供の手順書に従いドライバーのインストールを行います。

<UBF-neo>

『指紋認証ユニット マニュアル UBF-neo.pdf』の『3.ドライバーのインストール』を参照

<Windows 10 で UBF-neo (UB-H722) を利用する場合に限り下記を参照する。>

『指紋認証ユニット マニュアル UBF-neo.pdf』の『4.Synaptics WBF ドライバー』を参照

<UBF-Tri>

『指紋認証ユニット マニュアル UBF-Tri.pdf』の『3.ドライバーのインストール』を参照

※上記手順書は DDS 社より提供されている媒体の「Document」フォルダーに含まれています。

#### 3-2. Install.ini ファイルの設定

---

install.iniは、EVE MA クライアントを設定するテキスト ファイルです。

インストール前にinstall.iniを編集してEVE MA クライアント インストーラーを実行すると、install.iniの設定値が反映されます。

「2-2-1 EVE MAクライアントのインストーラー準備」でコピーした「client」フォルダー配下のinstall.ini.sampleをinstall.iniにリネームして、「3-2-1 [Install]セクション」から

「3-2-5 Install.iniファイルの設定例」を参考に編集します。

##### 3-2-1. [Install]セクション

---

「Windows ログオン時の認証機能」「EVE MA 管理ツールのインストール」のみインストールする設定とする。※「;」を削除すること。

<変更前>

```
[Install]
;WindowsLogon = TRUE
;MAUtil = TRUE
;MAAdmTool = FALSE
;TinyServer = TRUE
```

<変更後>

```
[Install]
WindowsLogon = TRUE
MAUtil = FALSE
MAAdmTool = FALSE
TinyServer = FALSE
```

### 3-2-2. [Client]セクション

---

接続先 EVE MA サーバーとポート番号を指定します。

[Client]セクションに関しては「[EVE MA インストールマニュアル.pdf](#)」 / 「4 クライアント構築」 / 「4.4.2 install.ini の設定値」の「セクション [Client]」を参照して設定を行う。

※「[EVE MA インストールマニュアル.pdf](#)」の手順書は DDS 社より提供されている媒体の「Document」フォルダーに含まれています。

### 3-2-3. [Client¥GINA]セクション

---

「Windows Logon Lite」のログイン方式 (AppID = 50008) とする。

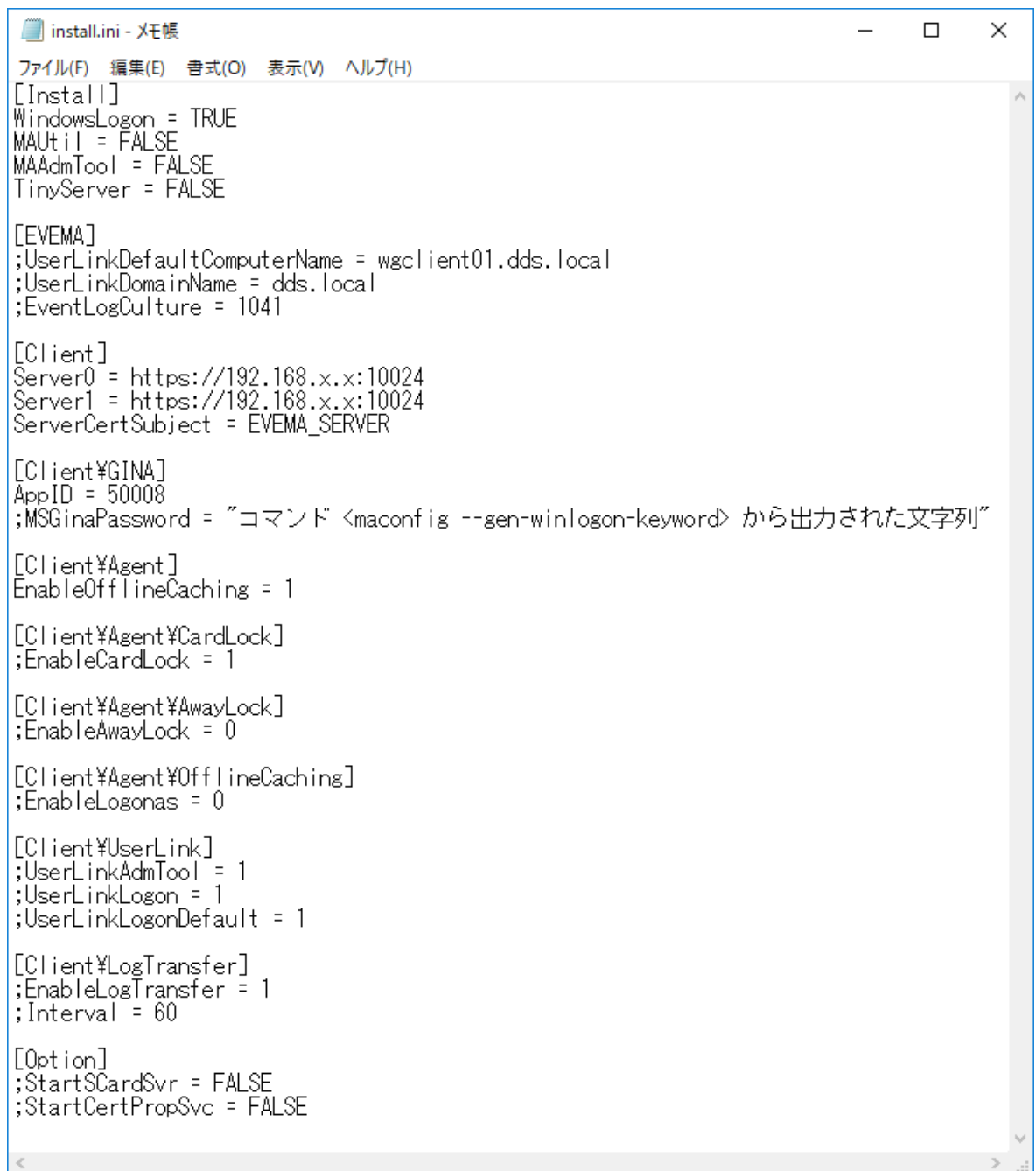
<初期状態のまま変更しない>

[Client¥GINA]

AppID = **50008**

;MSGinaPassword = "コマンド <maconfig --gen-winlogon-keyword> から出力された文字列"

## 3-2-4. Install.ini ファイルの設定例



```
install.ini - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
[Install]
WindowsLogon = TRUE
MAUtil = FALSE
MAAdmTool = FALSE
TinyServer = FALSE

[EVEMA]
;UserLinkDefaultComputerName = wgclient01.dds.local
;UserLinkDomainName = dds.local
;EventLogCulture = 1041

[Client]
Server0 = https://192.168.x.x:10024
Server1 = https://192.168.x.x:10024
ServerCertSubject = EVEMA_SERVER

[Client%GINA]
AppID = 50008
;MSGinaPassword = "コマンド <maconfig --gen-winlogon-keyword> から出力された文字列"

[Client%Agent]
EnableOfflineCaching = 1

[Client%Agent%CardLock]
;EnableCardLock = 1

[Client%Agent%AwayLock]
;EnableAwayLock = 0

[Client%Agent%OfflineCaching]
;EnableLogonas = 0

[Client%UserLink]
;UserLinkAdmTool = 1
;UserLinkLogon = 1
;UserLinkLogonDefault = 1

[Client%LogTransfer]
;EnableLogTransfer = 1
;Interval = 60

[Option]
;StartSCardSvr = FALSE
;StartCertPropSvc = FALSE
```

※[Client]セクションの設定は初期値のまま表示しています。  
現地の環境にあった値に設定してください。

### 3-3.EVE MA クライアントのインストール

---

1. 「3-2.Install.ini ファイルの設定」で編集した `install.ini` が同じ階層に配置された状態で、インストーラー `MAClient_xxx_y.y.y.zzzzz.exe` を実行します。
2. 画面の指示にしたがってインストールします。
3. インストール終了後、PC を再起動します。

#### 【注意事項】

- EVE MA をインストールすると Microsoft アカウントが利用できません。
- Windows10 に EVE MA をインストールすると、Windows Hello を使ったサインインは利用できません。

## 4. ID Manager のインストール

---

### 4-1.IDManager.ini ファイルの編集

---

IDManager.ini は、ID マネージャーをカスタマイズするための設定ファイルです。  
インストール前に IDManager.ini を編集して ID マネージャーのインストーラーを実行すると IDManager.ini の設定値が反映されます。

インストール CD の「Software¥...¥IDM for EVE MA」フォルダーを、アクセス可能な任意の場所にコピーします。「Software」フォルダー配下は、32bitOS 用と 64bitOS 用に分かれています。

「IDM for EVE MA¥sample」配下の「IDManager.ini.sample」を「IDManager.ini」にリネームして「4-1-1. [Install]セクション」「4-1-2 .IDManager.ini ファイルの設定例」を参考に編集します。編集後、「IDM for EVE MA」フォルダー配下にコピーします。

#### 4-1-1. [Install]セクション

---

[Cancelclose]キーを認証キャンセル時にウィンドウを閉じない設定とする。

<変更前>

[Client]

； 認証キャンセル時にウィンドウを閉じるかどうか

； 0：閉じない

； 1：閉じる（既定値）

CancelClose=1



<変更後>

[Client]

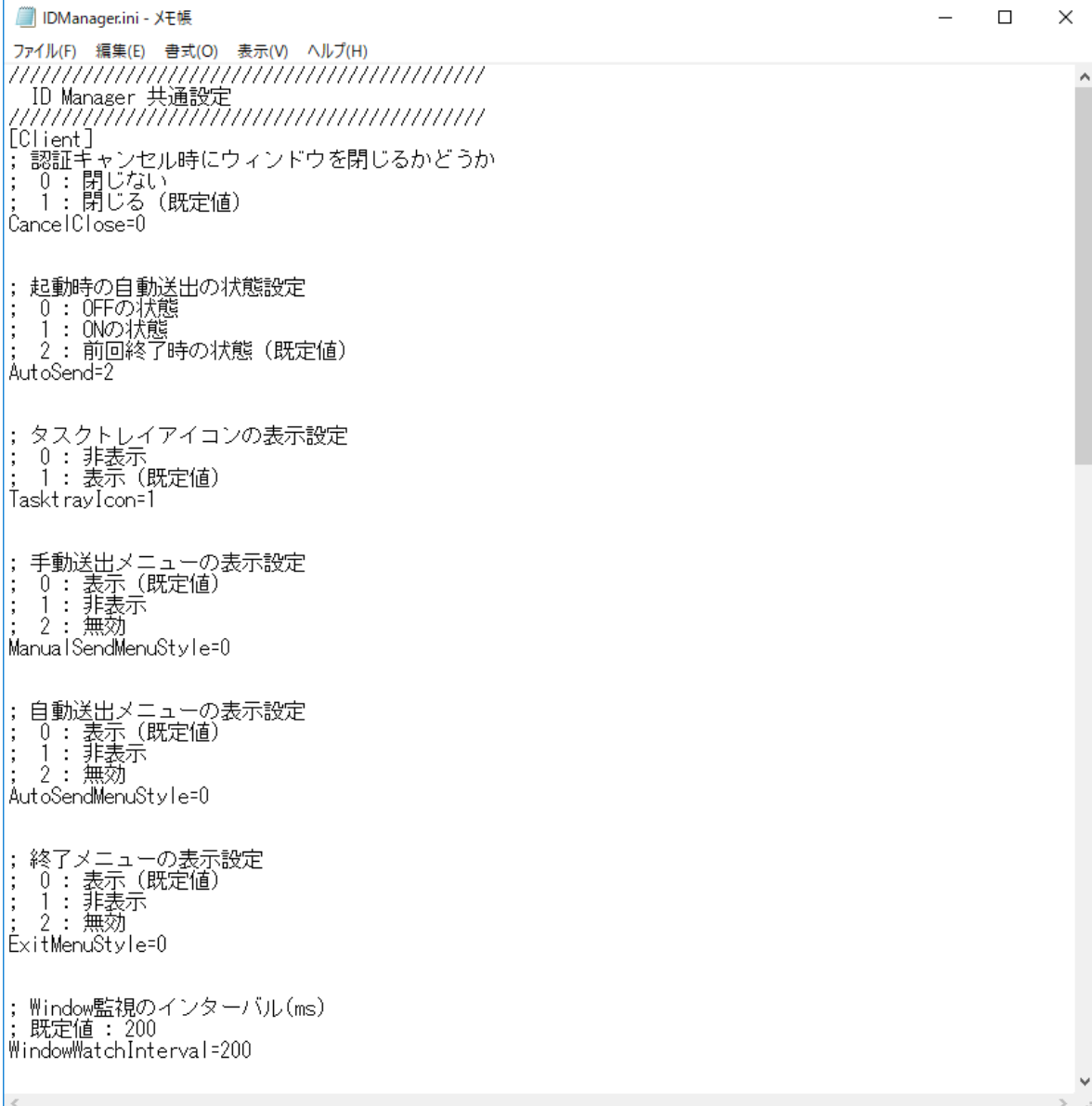
; 認証キャンセル時にウィンドウを閉じるかどうか

; 0: 閉じない

; 1: 閉じる (既定値)

CancelClose=0

#### 4-1-2. IDManager.ini ファイルの設定例



```
IDManager.ini - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
////////////////////////////////////
ID Manager 共通設定
////////////////////////////////////
[Client]
; 認証キャンセル時にウィンドウを閉じるかどうか
; 0 : 閉じない
; 1 : 閉じる (既定値)
CancelClose=0

; 起動時の自動送出しの状態設定
; 0 : OFFの状態
; 1 : ONの状態
; 2 : 前回終了時の状態 (既定値)
AutoSend=2

; タスクトレイアイコンの表示設定
; 0 : 非表示
; 1 : 表示 (既定値)
TasktrayIcon=1

; 手動送しメニューの表示設定
; 0 : 表示 (既定値)
; 1 : 非表示
; 2 : 無効
ManualSendMenuStyle=0

; 自動送しメニューの表示設定
; 0 : 表示 (既定値)
; 1 : 非表示
; 2 : 無効
AutoSendMenuStyle=0

; 終了メニューの表示設定
; 0 : 表示 (既定値)
; 1 : 非表示
; 2 : 無効
ExitMenuStyle=0

; Window監視のインターバル(ms)
; 既定値 : 200
WindowWatchInterval=200
```

※[Cancelclose]キー以外の設定は必要な場合以外変更しないでください。

## 4-2.ID Manager for EVE MA のインストール

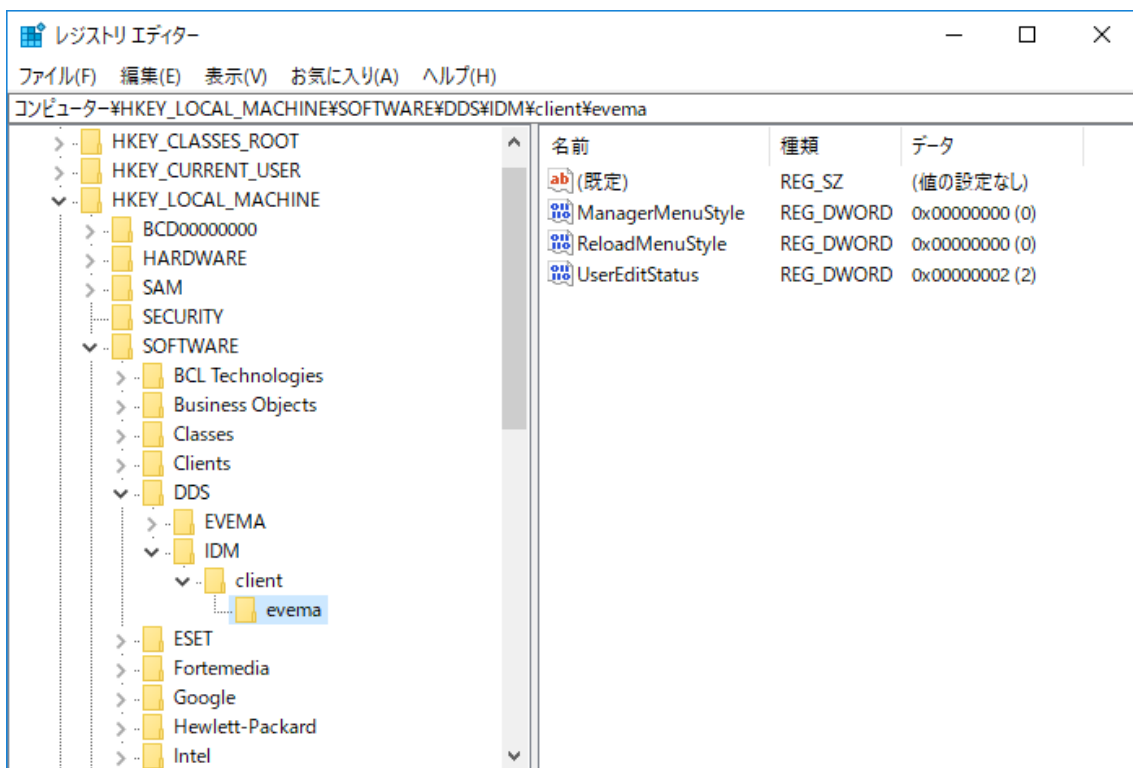
1. 「IDM for EVE MA」フォルダー配下の「IDMForEVEMA\_xXX\_y.y.zzzzz.exe」を実行する。
2. 画面の指示にしたがってインストールします。
3. インストール終了後、PC を再起動します。

## 5. レジストリーの登録

### 5-1.認証画面のユーザー名固定

本手順は PC の Administrator 権限のあるユーザーで設定を行います。

DDS 認証画面にてユーザー変更を制限する為に下記レジストリーの登録を行う。



[パス] HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\DDS\IDM\client\EVEMA

[名前] UserEditStatus

[種類] REG\_DWORD

[値] 2

※client キー直下に evema キーが作成されていない場合、手動で作成する。

※evema キー直下に UserEditStatus が作成されていない場合、手動で作成する。

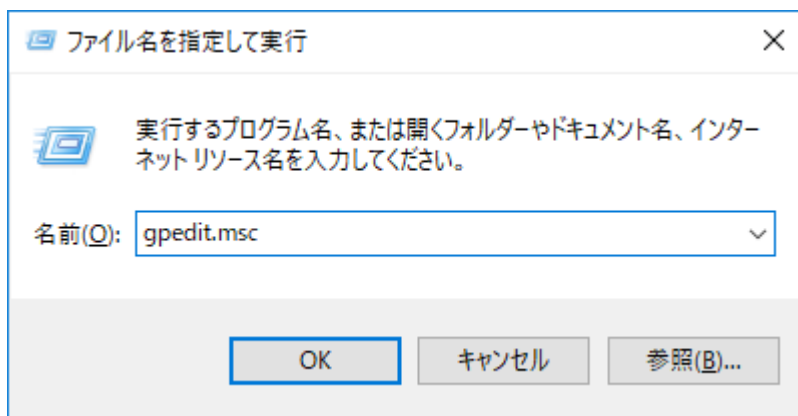
※本設定を行った場合であっても Windows ログイン時、管理ツールログイン時の DDS 認証画面ではユーザー変更は可能です。

## 6. ローカルグループポリシーの設定

本手順は Windows10 のみ必要な手順となります。Windows10 より前のバージョンでは必要ありません。

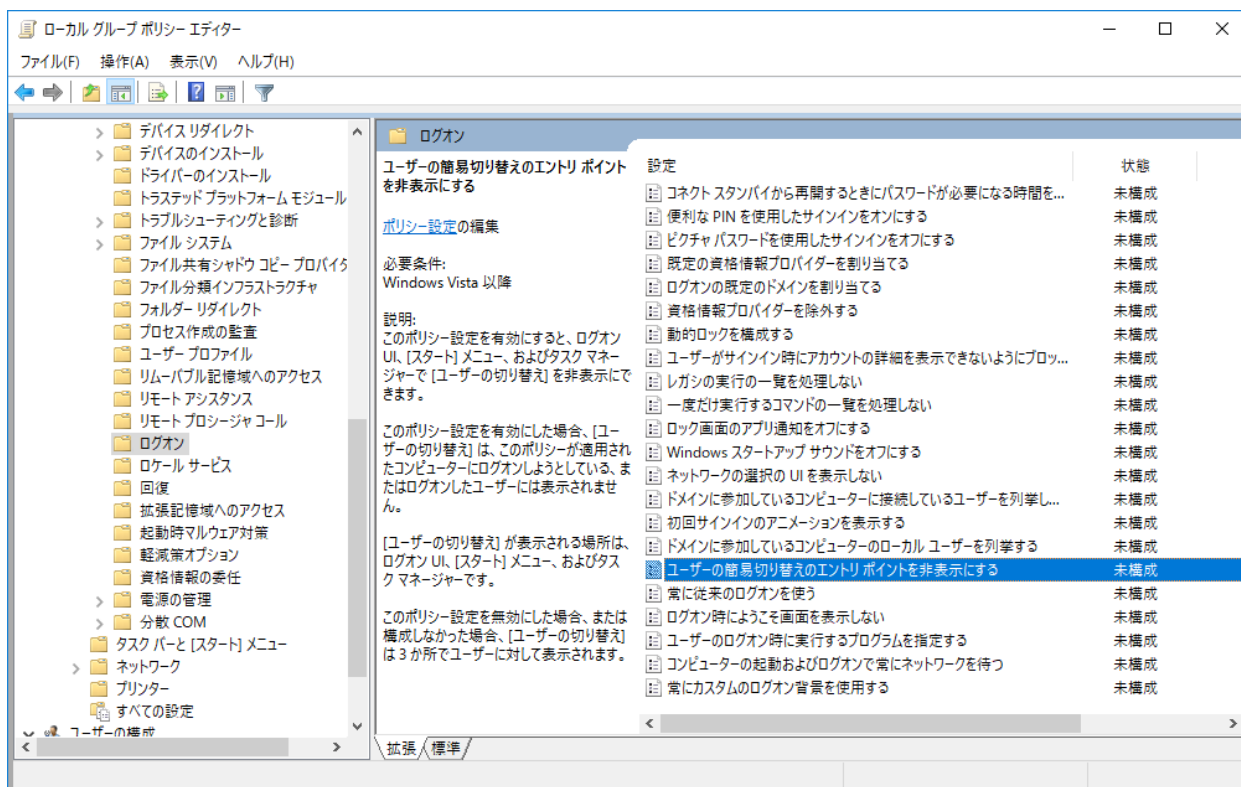
本手順は PC の Administrator 権限のあるユーザーで設定を行います。

1. 「ファイル名を指定して実行」を開き「gpedit.msc」を入力して「OK」を押下する。

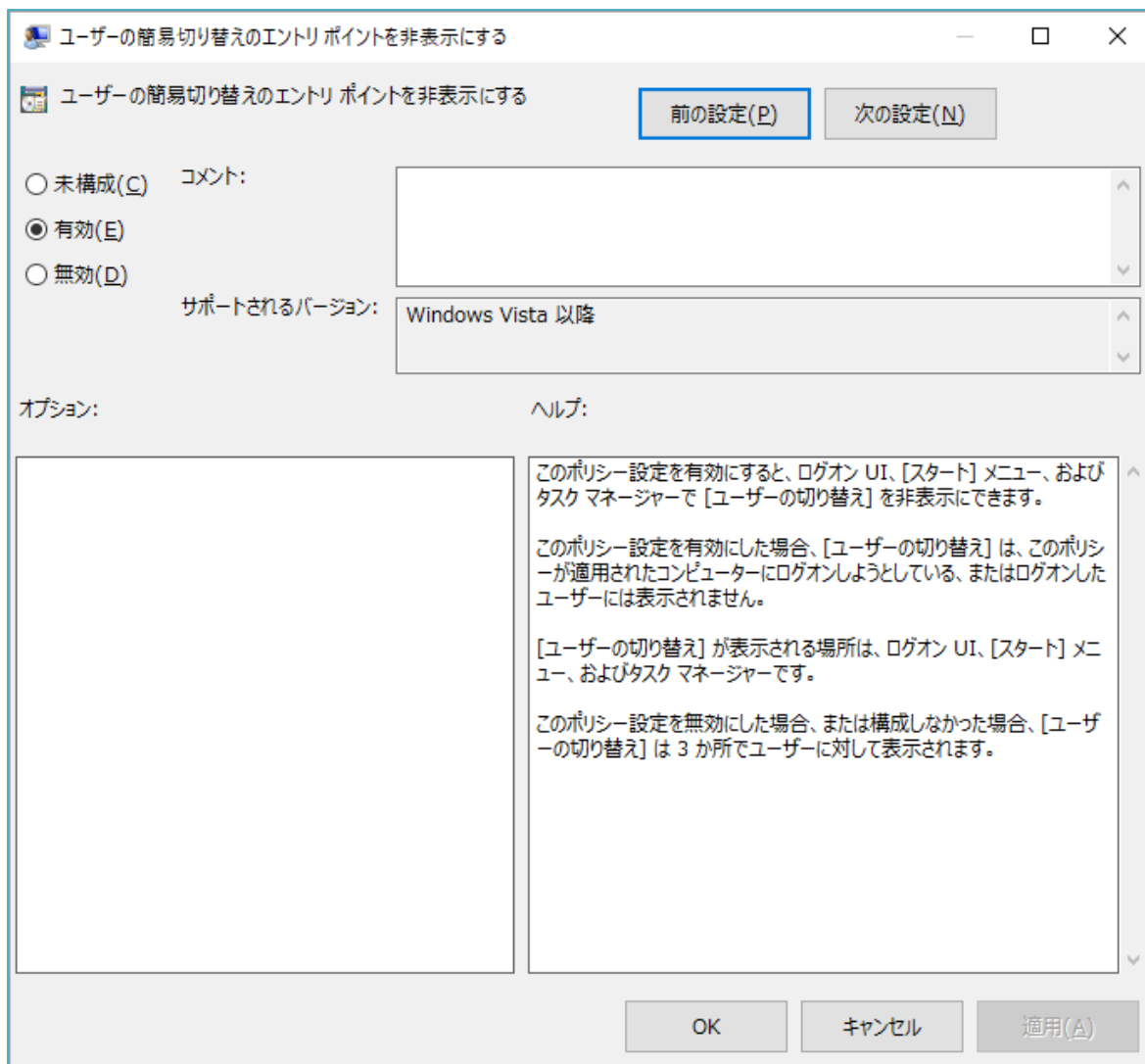


※「ファイル名を指定して実行」は Windows キー+「R」で起動する。

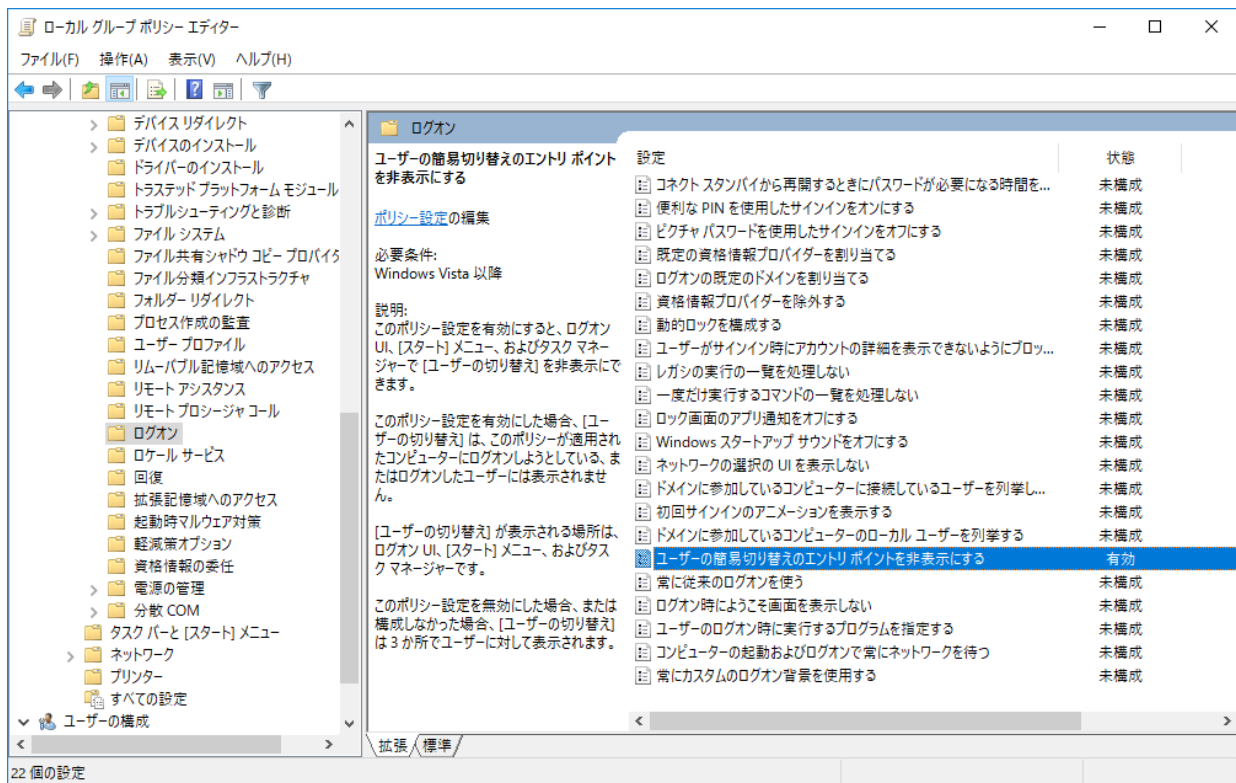
2. 「コンピュータの構成管理用テンプレートシステムログオン」にある「ユーザの簡易切り替えのエントリポイントを非表示にする」をダブルクリックする。



3. 「ユーザの簡易切り替えのエントリポイントを非表示にする」が起動するので、「有効」にチェックを付け「適用」→「OK」の順で押下し画面を閉じる



4. 「ユーザの簡易切り替えのエントリポイントを非表示にする」が「有効」になっている事を確認し画面を閉じる。



# DDS 指紋認証環境構築手順

4 版 2017 年 12 月 22 日

 株式会社シーエスアイ

〒003-0029 札幌市白石区平和通15丁目北1番21号  
電話：011-861-1500 FAX：011-861-1510